

## 人文科学研究科人文科学専攻

### 〔教員養成の目標〕

人文科学研究科人文科学専攻では、教員養成にかかわる全学的な教員養成の目標を踏まえ、また特に文学部史学地理学科及び文学科と目標を共有しながら、学部卒業レベルにはとどまらない、より高度な実践的指導力を備えた教員を養成していく。

本専攻は考古・歴史学コース、文学・文化論コース、地理・地域論コースで構成しており、考古・歴史学コースでは日本の文化・伝統に基づく歴史学の幅広い専門的知識、文学・文化論コースでは日本と海外の文学や文化に関する専門知識、地理・地域論コースでは日本と世界の歴史的形成過程や生活・文化の地域特性に関する専門知識の修得を目標としている。

教員養成においては、それぞれ専攻する学問分野の専門知識や教師として求められる教育学的知見を修得していることに加えて、今日の教育改革動向を含む社会や時代の動きに適切に対応しつつ、各学校現場固有の問題の解決に積極的に寄与することができる有為な人材の育成をめざす。

### 〔当該目標を達成するための計画〕

本専攻では、中学・高等学校国語及び書道、中学校社会、高等学校地理歴史の専修免許状を取得することが可能である。そのために必要な科目を漏れなく整備し、開講を継続するなど、安定的な体制の維持に努めるとともに、各科目の授業内容を教員養成の観点から編成している。

教員免許状を取得していない者でも、在学期間中に文学部開講の科目を履修することで、教育職員免許法に定められた単位を修得すれば、幼・小・中・高教員の教員免許状を取得することができる。

また、カリキュラム外の取組としては、非常勤講師として中学・高校の現場に立ちながら大学院での学びを深めている院生もおり、そのような院生に対しては教員によるサポートを個別に行うとともに、これから教員を目指す院生と共に学ぶ場を設けている。その他、希望する院生に対しては学習支援をはじめとする学校ボランティアの機会を設定・提供するなど、サポートの充実を図っている。

以上の取り組みを進めるに当たっては、FD活動を通じた点検を定期的に行っていく。また、学外の関係機関と連携していくとともに、教職支援室の有効活用を促していく。